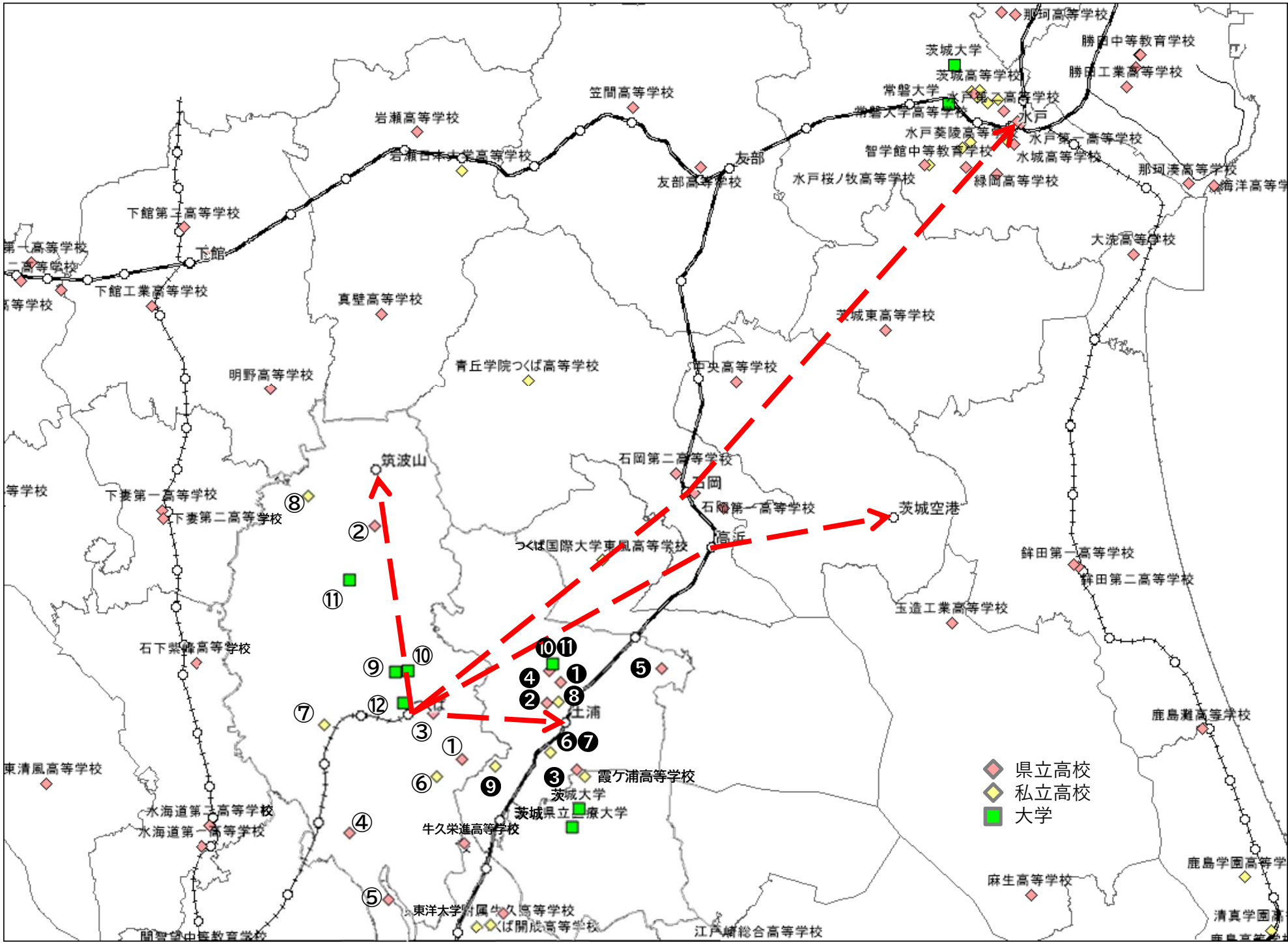


# 前回の指摘に対する対応について

# 1 第一回委員会での指摘と対応について

|    | 主な指摘  | 対応  |
|----|---|---|
| 1  | 鉄道延伸によって、広域でより多くの高校を選択できたり、電車通勤中の作業が可能になるなどの多様な働き方が広がったりする可能性は重要な視点。            | 延伸ルート上の高校・大学の位置について、[資料1(3・4ページ)]で、整理     |
| 2  | B/Cの算定にあたって、県北への波及効果や教育・通学の便益なども含めても良いのではないか。                                   | ご指摘いただいた内容については、今後の課題[資料3]と今後の進め方[資料4]で整理 |
| 3  | 方面の選定にあたっては、将来世代の負担にならないよう、採算性や事業費などの事業性分析をきちんと考慮することが大切。                       |   |
| 4  | TX延伸によって、既存の鉄道やバスに悪影響を及ぼさないといった観点は、交通ネットワークの維持や充実を考えるうえで、大変重要。                  |   |
| 5  | 方面決定後は、延伸部分の周辺地域だけの小さな計画にならないように、県全体としてTXをこの先どう利用していくか、県全体が同じイメージを共有し、調整を進めるべき。 |   |
| 6  | 現在の需要だけで判断をするのではなく、例えば延伸を機に、新たに公共交通の利用促進に向けた施策を打ち出すことも必要ではないか。                  |   |
| 7  | 需要増に向けて、公共交通の利用促進について、県をあげて取り組むことが必要。   |   |
| 8  | 鉄道による長距離の移動だけでなく、駅から先の二次交通の充実についても一緒に考えていかなければ、鉄道の利用促進につながらない。                  |   |
| 9  | TX延伸とともに常磐線の高速化を検討しても良いのではないか。  |   |
| 10 | 沿線地域と周辺地域で格差が生じる可能性があるため、鉄道延伸をした場合に、県内での人口の取り合いにならないような配慮が必要。                   |   |
| 11 | 神立駅での接続についても検討すべきではないか。   |   |

# 2-1 延伸ルート周辺の高等学校・大学の位置について



## 2-2 つくば市内及び土浦市内の高等学校・大学について

### つくば市内

|   | 区分       | 学校名              |
|---|----------|------------------|
| ① | 県立中等教育学校 | 並木中等             |
| ② | 県立高校     | 筑波               |
| ③ | 県立高校     | 竹園               |
| ④ | 県立高校     | つくば工科            |
| ⑤ | 県立高校     | 荃崎(定時制)          |
| ⑥ | 私立高校     | 茗溪学園             |
| ⑦ | 私立高校     | つくば秀英            |
| ⑧ | 私立高校     | S高等学校(広域通信制・単位制) |
| ⑨ | 国立大学     | 筑波大学             |
| ⑩ | 国立大学     | 筑波技術大学           |
| ⑪ | 国立大学     | 総合研究大学院大学        |
| ⑫ | 私立大学     | 筑波学院大学           |

### 土浦市内

|   | 区分       | 学校名             |
|---|----------|-----------------|
| ① | 県立高校     | 土浦第一(全日制・定時制)   |
| ② | 県立高校     | 土浦第二            |
| ③ | 県立高校     | 土浦第三            |
| ④ | 県立高校     | 土浦工業            |
| ⑤ | 県立高校     | 土浦湖北            |
| ⑥ | 私立中等教育学校 | 土浦日本大学中等        |
| ⑦ | 私立高校     | 土浦日本大学(全日制・通信制) |
| ⑧ | 私立高校     | つくば国際大学         |
| ⑨ | 私立高校     | 常総学院            |
| ⑩ | 私立大学     | つくば国際大学         |
| ⑪ | 私立大学     | つくば国際短期大学       |

# 3 神立駅検討に必要な調査期間について

・神立駅への延伸検討に必要な調査期間については以下のとおり。

|   | 調査項目   | 調査結果判明 |
|---|--|--------|
| ① | ・概算事業費   | 1月中旬   |
| ② | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京への速達性(水戸駅～東京駅、延伸先～東京駅)</li> <li>・時短効果(水戸駅～つくば駅)</li> <li>・常磐線への影響(輸送人員、輸送人キロ)</li> <li>・TXへの影響、バスへの影響</li> <li>・茨城⇔東京の鉄道利用者増</li> <li>・CN効果(CO2削減量)</li> <li>・道路環境(自動車事故の削減額、鉄道転換人数)</li> <li>・リダンダンシー効果(輸送障害リダンダンシー)</li> <li>・需要予測(輸送人員、輸送密度)</li> <li>・収支採算性</li> </ul> | 2月上旬   |
| ③ | ・B/C(B, NPV, EIRR含む)   | 2月末    |
| ④ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京への通勤圏の増加(秋葉原からの2時間圏域)</li> <li>・県北・県央との交流(つくばからの60分圏域・90分圏域)</li> <li>・鉄道分担率1%増の社会的影響</li> <li>・B/C1.0以上に必要な輸送人員、開発人口</li> </ul>   | 年度内困難  |

## 今後の対応(案)

・神立駅の検討にあたっては、実現可能性(B/C)の調査が完了する「2月末」まで待つことが必要。  
 →第3回委員会(2/9)とは別に、議論の場を別途設定(3月上旬)し、議論の結果を、県で実施するパブコメに反映させることとしたい。 ※提言書は予定どおり2/9に策定・手交